

# I 授業研究

## (1) 各学校の校内現職教育との関連性

豊明市学力充実プランは主任研究と連携し進めているため、各学校の現職教育と連動しています。教師の資質向上を図りながら「わかる・できる授業の設計」をし、学習に意欲的に取り組み、確かな学力を身につけることができる児童生徒の育成を図りました。

平成26年度の市内小中学校現職教育のテーマは以下のとおりです。

|     |                                                        |
|-----|--------------------------------------------------------|
| 豊明小 | 人との関わりを大切にし、心豊かに活動する児童の育成                              |
| 栄小  | 理解力・思考力・表現力を培うための言語活動の充実                               |
| 中央小 | 国語科における言語活動の充実を図りながら、基礎・基本を定着させる授業の開発                  |
| 沓掛小 | 根拠を交えて自分の考えを表現する学習指導のあり方                               |
| 双峰小 | 確かな学力をもった児童の育成<br>～基礎・基本の確実な定着をめざして～                   |
| 大宮小 | 意欲的に学習に取り組める子の育成<br>～書くことを通して思考力を高める～                  |
| 唐竹小 | よく考え、主体的に学ぼうとする児童の育成<br>～思考のつながりを大切に学習活動の展開を通して～       |
| 三崎小 | 自ら学び自ら考える児童の育成<br>～言語活動を充実させる単元構成・授業展開の工夫を通して～         |
| 舘小  | できる喜び、わかる喜びを実感させる授業の創造<br>～「授業改善」を図り、児童の学力向上を目指す～      |
| 豊明中 | 確かな学力を身に付けさせる教科指導<br>～相手の言葉をしっかり聴き、自分の考えを正しく伝える活動を通して～ |
| 栄中  | 自尊感情を大切にする魅力ある授業の構築<br>～言語活動の充実を通して～                   |
| 沓掛中 | 理解し、考え、表現することができる授業の工夫<br>～言語活動の充実を通して～                |

## (2) 教師集団の資質向上～わかる・できる授業の設計を目指して～

### ① 研究授業の方法に関する取組

#### ア 栄小の実践「学年共同で単元を計画した研究授業の実施」

同学年の担任が集まり、単元構想を練り上げ、互いの授業を見合うことで成果と改善点を確認するという取組を行いました。学年での研究協議がより深まりのある内容になり、参加者にとって有意義なものになりました。

#### イ 唐竹小の実践「座席表の活用」

指導者が座席表に「本時の目標に到達させるためのその児童に必要な支援」「本時の学習活動に関する児童個々の実態」を書き込むこ

とで、児童の実態をつかみながら、効果的に支援することができるようにしました。研究授業では、座席表をもとに児童の様子を詳細に観察することができました。また、研究授業後の研究協議では、授業での児童の様子を具体的に取り上げながら、深まりのある話し合いができました。この座席表は、児童の実態把握のために、普段の授業でも活用されています。

### ② 教師の授業力向上のための取組

#### ア 授業力向上研修（市教委主催）

市では、毎年夏季休業中、教育コンサルタントの大西貞憲先生を講師にお招きして「授業力向上研修」を実施しています。研修では、大西先生からの講義を受けたあと、代表の3・4名が考えた授業をグループごとで検討し、模擬授業を行います。平成26年度は、大西先生から「全員が参加できる学級を目指して～学級づくりの基本を考える～」というテーマで講義をしていただきました。

#### イ 舘小の実践「教師自身が授業の基礎基本を身につける」

授業改善の視点を、児童が「何を学ぶか」「何を学んだか」を実感できるように授業のめあてを明確にし、本時のまとめや振り返りをする時間を必ずとるようにしました。また、「はじめ（導入）」「中（展開）」「おわり（まとめ）」という流れができるように授業を設計する、板書計画・発問・助言・机間指導等を工夫して児童の学びを促すように支援する、など授業の基礎基本となる部分を大切に指導ができるようにしました。

#### ウ 沓掛中の実践「力量向上を目指す自主参加の現職教育」

若手教員および希望者を対象とした研修会で、参加教員が交代で講師となり実施しました。内容は授業参観の研修、教材研究に関わる研修等、各教員の得意分野を活かした内容で多岐にわたって行われています。実施内容や実施日の調整が必要ですが、若手教員を中心に熱心に研修が行われています。

### ③ 授業の方法に関する取組

#### ア 沓掛中の実践「授業のルール・教師の心構えチェックカード」

夏季休業中の現職教育で、「授業のルール」について取り上げ、全職員が共通して指導すべき内容についてワークショップ形式で確認しました。その後、話し合った内容をもとに、「学習マナーを意識して指導できたか」「授業のねらいを明確に提示できたか」「発問や説明は適切だったか」「板書は工夫できたか」等、週に1回「教師の心構えチェックカード」を使って自己評価をします。「次の自分へ」という欄には自分へのメッセージを書きこみ、良かったことや反省点を確認します。

#### イ 唐竹小の実践「学習に臨む心構えの醸成」

児童が「今から授業が始まる」という気持ちの切り替えができるようにするために、全学年で以下の「型」を実施しました。

- ・学習用具の準備（チャイムの鳴り終わる前に）
- ・「姿勢を正しましょう」「お願いします」という号令
- ・短冊黒板による学習課題の掲示

その後、定期的に教師自身がセルフチェックし、実態を確認しながら修正できるようにしました。